

ミツバ盗難警報機専用オプション 超音波センサー TKP-05

取付・取扱説明書

TKP-05
MSM Ver1

このたびはミツバ「盗難警報機専用オプション 超音波センサー」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。この取付・取扱説明書は、本品の正しい使いかたや取り付けかた、使用上の注意について記載してあります。取付・取扱説明書を最後まで必ずお読み頂き、正しく本品を取り付け、お使いください。また、取付・取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用出来るように大切に保管してください。

1. 安全上の注意事項

記号と意味は次のようになっております。

- 警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。
- 注意** 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

ここでは、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

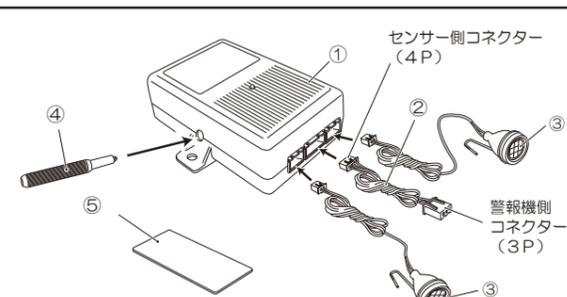
- 警告** 本品は、ミツバ「ガードッグ CAシリーズ」との組み合わせで使用できます。他の商品との組み合わせは、車の故障や思わぬ事故の原因となりますので、絶対に行わないでください。

- 注意**
 - 本品を使用中に発生した盗難や事故については、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本品は12V車にのみ取り付け可能です。24V車への取り付けはできません。
 - 本品の配線接続時は、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業してください。ケーブルを外さずに作業すると、配線がショートして火災・感電・故障の原因となります。外しかたについては、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で外しかたを確認してください。車両搭載装置に影響する恐れがあります。
 - 車のバッテリーが弱っている場合及び車本来の機能に不備がある場合は、正常に動作しないことがあります。
 - 本品を高温多湿な場所に設置しないでください。故障の原因となります。
 - 本品には水がかからないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。
 - 本品の分解、塗装、改造は絶対行わないでください。火災・感電・故障の原因となります。

2. 使用上の注意事項

- 注意**
 - 本品は、取り付け機種・取り付け状態・駐車場所などによりセンサー感度が異なります。正しく取り付けられた上で、必ず動作確認を行ってください。
 - 本品は車内侵入を感知するセンサーですが、センサーの特性上、車の揺れも感知する場合があります。
 - 本品を取り付けた場合は、バッテリー上がりの恐れがありますので、3日間以上の連続動作はお止めください。
 - 超音波センサーは、車両1台につき1ヶまでしか使用できません。2ヶ以上を同時に接続されると、動作不良の原因となります。

3. 仕様

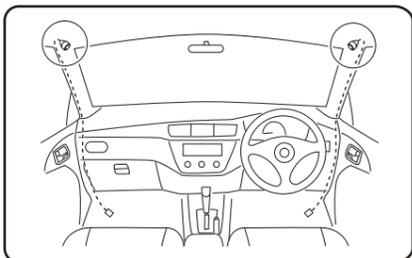
機種	TKP-05																	
センサーレベル	レベル2（センサーが感知した場合、警戒ランクAあるいはSに達し5秒または30秒警報します。）																	
機能	車内に超音波を張り巡らせ、ドアの開閉や車内侵入を感知します。																	
構成部品																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>部品名称</th> <th>個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>超音波センサー本体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ハーネス</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>超音波センサー</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>感度調整ドライバー</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>両面テープ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>電源電圧：DC12V 消費電流：待機時 0mA 警戒時 10mA 感知時 20mA 動作温度範囲：-10～70℃</p>	No	部品名称	個数	①	超音波センサー本体	1	②	ハーネス	1	③	超音波センサー	2	④	感度調整ドライバー	1	⑤	両面テープ
No	部品名称	個数																
①	超音波センサー本体	1																
②	ハーネス	1																
③	超音波センサー	2																
④	感度調整ドライバー	1																
⑤	両面テープ	1																

4. 取り付け方法

- 警告**
 - 配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、本品や車の故障、さらには車両火災の原因となります。
 - ステアリングシャフトやペダル類等の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。

- 注意**
 - 運転中あるいはドアを開めるときの振動等で外れてしまうことのないよう、本品は、しっかりと固定してください。両面テープで固定する際は、取り付け面の汚れや油分をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。
 - 本品は、運転操作の邪魔にならない所へ取り付けください。
 - 本品は防水構造になっておりません。水のかかる恐れのある場所には設置しないでください。
 - 本品は無線機、強い電波やノイズを発生する機器とは離れた場所に取り付けてください。動作不良の原因となります。
 - エアコンの吹き出し口には取り付けしないでください。高温になったり、結露の恐れがあり、本品の故障の原因となります。
 - 内装パネルやドアの内張りを外す際は、部品を破損しないように慎重に作業してください。パネルや内張りが元に戻らなくなる恐れがあります。

(1) 超音波センサーを取り付けます。

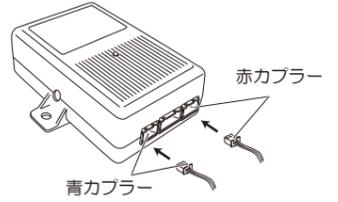


超音波センサーを左右のピラー上部にそれぞれ取り付けます。センサーの固定は、センサーに付いているクリップを利用して、振動等で動かないようにしっかりと固定してください。また、超音波センサーの向きは車室内に向くように取り付けてください。

- 注意** 超音波センサーの固定が不十分ですと、車の揺れに過敏に反応する可能性があります。

(2) 超音波センサーを超音波センサー本体に接続します。

超音波センサーのコードを引き回して、超音波センサー本体に接続します。このとき、同じ色どうしのコネクターを接続してください。



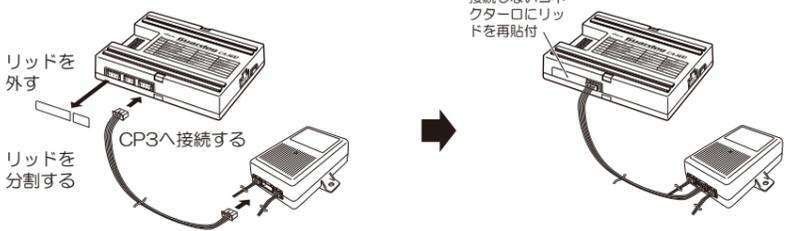
注意

動作確認が完了するまで、感度調節がしやすいよう超音波センサー本体は固定せずに座席の上等に置いておいてください。

(3) 超音波センサー本体を警報機本体に接続します。

付属のハーネスの4Pコネクター側を超音波センサー本体へ、3Pコネクター側を警報機本体のオプションセンサー接続口へ接続してください。

〔例〕CA-500に接続する場合

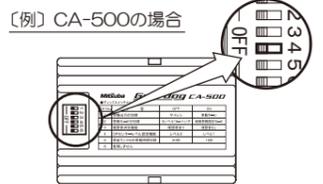


注意

盗難警報機側の接続方法については、別途、盗難警報機の取付・取扱説明書を参照してください。

(4) 警報機のディップスイッチ（OPセンサーレベル設定）を「センサーレベル2」に設定します。

警報機のディップスイッチ（OPセンサーレベル設定）を「センサーレベル2」に設定することで、超音波センサーが感知したときに警報機は警戒ランクAあるいはSに達し、5秒または30秒警報します。



5. 動作確認

- 全ての窓を閉め、全てのドアを閉めます。
- 警報機をセットします。リモコンで警報機をセットしてください。
- センサーの感度を確認します。

警報機のスタンバイモードが終了し、警報機が警戒状態になったら、車内へ侵入してみてください。このとき、超音波センサーが反応すると、警報機は警戒ランクAまたはSに達し、5秒または30秒警報します。
※ 車内へ入ってもセンサーが反応しない場合、あるいは誤動作する場合は、一旦警報機をOFFして、感度調整を行ってください。

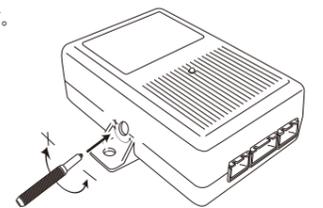
注意

- 反応させたい物体（人）と超音波センサーとの間に座席等の障害物がある場合は、反応しない可能性があります。
- ドアを開けた際に、ドアの動きに反応する場合があります。

感度調整方法

超音波センサーは感度が強すぎる場合、かなりの確率で誤動作が発生します。出荷時の設定で動作確認して適切な感度が取れない場合は、以下の要領で調整してください。

- ① センサー本体の感度調整穴のゴムカバーを外す。
- ② 付属の感度調整ドライバーで一番弱く（一側へいっぱいまで回す）調整します。
- ③ そこから、約1/4回転だけ、右（＋側）回します。
- ④ その状態で、一旦警報機を警戒セットします。警報機のスタンバイモードが終了したら、手などを動かしてセンサーの感度を確認します。
- ⑤ テストの結果、感度が弱いと感じたら＋側へ、強いと感じたら－側へ付属の調整ドライバーで約1/8回転だけ回してください。
- ⑥ ④と⑤を繰り返して適当な感度調整ができれば、元通りにゴムカバーをはめ、完了です。



注意

調整する際には、力を入れずに軽く回してください。無理に回すと故障の原因となります。調整用ポリウムは1回転（360°）はしません。無理に回すと破損しますのでご注意ください。

(4) 車を揺らしたときにセンサーが反応するかどうか確認します。

本センサーは感度設定及び取り付け位置／向きにより車の揺れに過敏に反応する場合があります。感度調整後、実際に車を揺らし、車の揺れに対する動作確認を行ってください。このとき、過敏に反応するようなら感度を下げてください。

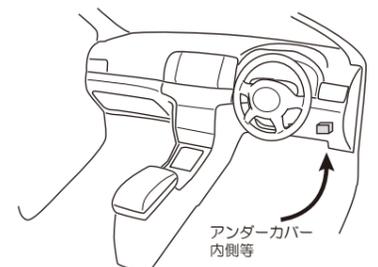
注意

超音波センサーの固定が不十分であると、車の揺れに過敏に反応する可能性があります。

6. 仕上げ

(1) 超音波センサー本体を固定します。

センサーが正常に反応することを確認したら、超音波センサー本体を車室内のなるべく目につかない場所（アンダーカバー内等）に取り付けます。このとき、著しく高温・多湿になる場所は避けてください。また、超音波センサー本体の固定は両面テープまたはインシュロックタイ等でしっかりと固定してください。



(2) 配線したハーネス類を整理します。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープやインシュロックタイで確実に固定してください。

警告

- ステアリングシャフトやペダル類等の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- 配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、本品や車の故障、さらには車両火災の原因となります。

(3) 「設定内容確認表」へ接続状態について記入してください。

警報機本体の「取付・取扱説明書」の「設定内容確認表」へ接続状態を記入してください。万一、不具合が発生した場合のお問い合わせに必要となります。